

相談援助実習指導者のためのスタートアップ研修

－評価表から作る実習プログラム－

現行の社会福祉士養成制度では、相談援助実習の実習指導者要件が厳格化され、「社会福祉士実務3年以上で実習指導者講習会を修了した者」となったことにより、“社会福祉士の養成は社会福祉士が担う”という後継者養成の自己再生産システムが確立されました。

一方、安定的な社会福祉士の養成には、実習施設・機関の継続的な確保が不可欠である。そのためには、比較的指導経験の浅い（あるいは指導経験のない）社会福祉士が、スムーズに実習指導者となっていくことを可能とするためのフォローを、養成校と職能団体の協働によって行うことが必要です。

以上より、本研修は参加者が実習プログラムを「自ら作成することができる」ことにつながるノウハウ獲得型研修として企画しました。実習プログラムの作成に関する体験に基づく講義を踏まえ、具体的な作業工程を個人ワークとグループ演習形式で体験する実践的内容で構成されていますので、多くの方々の参加をお待ちしております。

日 時 2016年12月17日（土）10:00～17:15（受付9:30～）

会 場 北星学園大学 第2研究棟地下1階 第1会議室

対 象 社会福祉士実習指導者講習会を修了し、実習プログラムを新規作成または現行プログラムの修正を予定している者。

*「実習プログラム」とは、相談援助実習受入施設・機関で作成する基本プログラムを指す。

定 員 25名程度（先着順）

参加費 2,000円（当日申し受けます）

主 催 北海道ブロック社会福祉実習研究協議会
（一社）日本社会福祉士養成校協会北海道ブロック
（一社）日本社会福祉教育学校連盟北海道ブロック

共 催 （公社）北海道社会福祉士会
（一社）北海道医療ソーシャルワーカー協会

情報交換会 会場周辺で開催（会費3,500円）*事前申し込み必要

プログラム

司 会：伊藤 新一郎（北星学園大学）

9：30	【受付】
10：00	【開 会】 社養協道ブロック運営委員長 池田 雅子（北星学園大学）
10：05	講 義「実習プログラム作成の流れと作業のポイント（体験談を含めて）」 ・中項目2－（2）利用者（特定ケースを中心に）のアセスメントについて学ぶ 講師：長多 賢志 氏（特別養護老人ホーム清幌園）＊予定 ・中項目2－（3）利用者（特定ケースを中心に）の支援計画について学ぶ 講師：渋谷 敦子 氏（札幌市清田区第2 地域包括支援センター）
11：25	グループでの自己紹介&講義に関する意見交換
12：00	昼食休憩
13：00	【演習】実習プログラム作成（個人ワーク＋グループワーク） テーマ1：利用者（特定ケースを中心に）のアセスメントについて学ぶ テーマ2：利用者（特定ケースを中心に）の支援計画について学ぶ 展開方法： 可能な限り参加者の実践領域を考慮した上で1グループ5名程度の構成とし、 実習指導者経験が豊富な社会福祉士と養成校教員がペアで助言者となることを 原則として1つのグループを担当する。 上記テーマに関する個人ワークを行った後、グループ内で各自の作成内容を共有し、 疑問点の解消や具体的な作業工程の方法等について助言者からのアドバイス等を受けられる展開とする。 職場に戻った際、個人作業として実習プログラムの作成が行えるようになることを目標とした演習とする。
16：30	【グループ報告＋成果の共有】
17：20	【閉 会】 社養協道ブロック研修委員長 巻 康弘（北海道医療大学）
18：00	【情報交換会】

相談援助実習指導者のためのスタートアップ研修会

参加申込用紙

申込先：平野啓介（札幌医学技術福祉歯科専門学校）

E-mail：ssw-kh@nishino-g.ac.jp

本申込用紙をメール添付の上、上記アドレスまでメールにてお申し込みください。

申込期限 2016年11月28日（月）※先着順です

備考：昼食は各自でお願いいたします。当日は大学生協（購買・学食）が営業しております。

所属機関・施設名			
申込代表者連絡先	TEL： E-mail：		
参加者氏名	職 位	情報交換会の参加	実習指導経験の有無
		有 無	有 ⇒（ ）年 無
		有 無	有 ⇒（ ）年 無
		有 無	有 ⇒（ ）年 無
		有 無	有 ⇒（ ）年 無

<連絡事項等> 本研修会に参加するにあたって何かございましたらご記入ください。

--

<お問い合わせ先>

北星学園大学 社会福祉学部 伊藤 新一郎

TEL：011-891-2731（内線1607）E-mail：ito@hokusei.ac.jp